

街中美化運動はなのみち

活動場所 滋賀県高島市JR近江今津駅から
観光船乗り場までの通り
所在地 滋賀県高島市今津町弘川1253、
高島市今津支所今津まちづくり情報センター内
設立年 2014年
会員数 10名



街中美化運動はなのみち

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

今津で一番、人の往来が多いJR近江今津駅東口広場より観光船乗り場までの約200mを「はなのみち」として、フラワーロードをつくりあげ、観光客及び地域の人々に潤いを与え、憩いの場として提供し「まちづくり」の一端を担うことを目的に13年前から活動を始めました。最近では、ようやくメンバーも10名を超え、活動も広がりました。今後、活動範囲を拡大して、日本一きれいな町を目指したいと思っています。

「環境や地域への貢献」

目的は花づくりを通して助け合い、地域と密着を図り、潤いのある環境づくり、街づくりを推進するとともに訪れる人達が心む場所として提供することにあります。近年は観光客や地元の人にも共感を得ており、花の季節に訪れる人も増えています。

「助成金が活きたと思う点」

3年間の夏原グラント助成金により、安全ハッピーコーンの購入、プランターボックスの修理、収納庫の購入という長年の懸案を解決し、ほぼ長期的な活動ができる目途が立ちました。ご厚意に感謝するとともに今後、更に環境美化を図りたいと考えています。

伊吹山自然再生・保全事業

活動場所 滋賀県米原市伊吹山
所在地 滋賀県彦根市正法寺町 686-11
設立年 2008年4月1日
会員数 45名
連絡先 ibuki@ds-j.com
HP 



伊吹山ネイチャーネットワーク

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

今までにない急激な環境劣化が進む伊吹山。このような中、私たちは保全活動を進めています。しかし、約2億5千万年前に誕生したといわれる伊吹山に対し、どれほどの知識を持ち合わせているのでしょうか？このことから、3年前にその基礎となる「地学」「生物学」「人間学」の本を出版することをめざしました。そして、夏原グラントの助成金を続けて3年間交付いただいたことで、今年度、完結編「山とひと学の本」を発行し、当初の目標を達成することができました。

「環境や地域への貢献」

本書の出版は話題となり、多くの新聞社がその都度掲載。また、県内全域の図書館や周辺の教育機関等に贈呈したことで、本書の購入申込が絶えません。さらに伊吹山文化資料館では、本書をテーマとした特別企画展や講座も開催され、他では伊吹山保全教育のテキストとして活用されています。

「助成金が活きたと思う点」

本助成金で、3年続け1年ごとに出版した第3冊が本年度完結しました。本会の運営資金だけでは、とても不可能だった夢の出版計画が実現したこと心から深く感謝申し上げます。

棚田保全ボランティア活動

活動場所 滋賀県蒲生郡日野町熊野地先
所在地 滋賀県蒲生郡日野町熊野 431
設立年 2009年
会員数 17名
連絡先 0748-53-0809 グリム冒険の森内、HP 



熊野・棚田を育てる会

「夏原グラントで実施した事業の紹介」

助成金を初めていただいてから3年目になりました。耕作を放棄されて雑草が茂っている荒廃地を“復田しよう”と、地主の協力を得て棚田ボランティア活動として取り組んでいます。

「環境や地域への貢献」

復田作業がしやすいところから取り組みました。雑草が茂り、シカや猪の活動拠点になり、見た目も悪い環境でした。獣害柵を設置し、獣害を減少対策をしました。年間数回ボランティアの協力を得ながら取り組み、環境も良くなってきました。また、収穫した稲わらを熊野神社行事に提供し、注連縄作りや弓引き行事などに参加しています。

「助成金が活きたと思う点」

助成金は活動の運営資金として活用させていただいています。以前は、資金が不足気味で、活動が消極的になり、草刈りだけで終わり、事業の計画時になると来年やめてはという意見も出るようになっていました。そんな時夏原グラントを知り挑戦しましたが1次審査、不合格でした。その後再チャレンジして、助成が受けられるようになりました。本当にありがとうございます。

* HP Facebook Twitter : 団体としてサイトやアカウントを持っている印 (団体名で検索)

BDFをつくる・楽しむ・広げる 高校生プロジェクト 特定非営利活動法人 菜の花プロジェクトネットワーク

活動場所 滋賀県から全国へ。
韓国・中国・チェルノブイリ等 海外でも展開
所在地 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地
設立年 2006年1月
会員数 500名
連絡先 0748-46-4730、webmaster@nanohana.gr.jp
HP



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

近江八幡工業高校の「BDF化実験ツール」を生かし、子どもたち、地域住民に地球温暖化、循環の仕組みづくりを共に学び、実践につなげることをめざしました。高校生が子どもたち、地域の人たちに自らの技術(BDF化)を語ることで、“私たちも取り組まねば”、という意識を引き出すことができました。とりわけ沖島の子どもたち、島民、漁民の皆さんのエコ意識向上に寄与できたことが大きいと思います。

「環境や地域への貢献」

近江八幡市においては廃食油回収の仕組み等、循環の取り組みにやや欠けているところが見られるように思います。高校生が地域にBDFの取り組みを伝えることで、地球温暖化・CO2削減・脱化石など、身近かになったように思います。沖島での反応が大きく、将来に期待がもてそうです。

「助成金が活きたと思う点」

この三年間、夏原グラントの助成のおかげで、予算の乏しい高校の実践プログラムを推進することができました。さらに予想を越え「菜の花プロジェクト」が緒についたのはうれしいことです。いよいよ島民の皆さんが、自らの島の持続可能性に向け行動するときです。外からサポートしながら共に育っていかれたらと考えています。

チェーンソーと軽トラで山を元気に！町を元気に！ 甲賀木の駅プロジェクト

甲賀木の駅プロジェクト運営委員会

活動場所 滋賀県甲賀市甲賀町
所在地 滋賀県甲賀市甲賀町神 1323
設立年 甲賀愛林クラブ 1974年、甲賀木の駅プロジェクト 2014年
会員数 甲賀愛林クラブ 170名、甲賀木の駅プロジェクト 40名
連絡先 0748-88-4312(竹中島)
Facebook



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

今、木材価格の低迷により、森林所有者の山離れが進んでいます。そこを何とかしようとプロジェクトを立ち上げました。森林所有者やボランティアが山で間伐した木をチップ工場に出荷して、受け取った伝票を“甲賀木の駅PJ運営委員会”に持っていき、工場より高い金額で地域登録商店で使える「モリ券」と交換できるという仕組みを運営しています。環境保全と地域振興を合わせた活動です。また資金的な自立や再生可能エネルギーの活用、障がい者の就労の場づくりを目的に、甲賀福祉作業所と共に新生産販売を行いました。

「環境や地域への貢献」

山に行く人が増えました。森林整備を行う人材が地域に増えれば、森林環境保全への意識が高まります。地域商店さんにもモリ券を通して当活動を知ってもらい、地域の活性化を共に図ることができました。薪の生産販売を通して町の方とも繋がり、再生可能エネルギー利用、環境意識の普及を行っていきたいです。

「助成金が活きたと思う点」

仕組みを回していくための運営費として助成金が活きました。

大学生の力で外来水生植物から琵琶湖を取り戻そう

特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会 IVUSA

活動場所 琵琶湖全域(草津市、大津市、守山市、東近江市、高島市、彦根市、米原市)
所在地 関西事務所:大阪府高槻市真上町 1-1-18 Insist21-3B
設立年 1993年1月(法人格取得 2002年5月)
会員数 約 3500名
連絡先 T・F: 072-601-5109、ivusa-office@ivusa.com
HP Facebook Twitter



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

本協会ではオオバナミズキンバイをはじめとする特定外来生物の除去活動やモニタリング作業を行ってきました。また、第7回世界水フォーラムや第16回世界湖沼会議、滋賀県内の環境フォーラムでの活動発表やイナズマロックフェス等のイベントでの展示発表などの広報活動も実施してきました。

「環境や地域への貢献」

2013年度の活動開始以降、4年間で計32回の活動を実施し、延べ6114名(環境団体、一般参加者を含む)が作業に参加し、約250トンの特定外来生物を除去しました。その結果、琵琶湖の固有生物の保全や水質の改善、船の航行障害の解消に貢献できました。また、広報活動では様々な環境フォーラムや環境イベントでの啓発活動を行い、特定外来生物の認知度や危険性の向上に貢献しました。

「助成金が活きたと思う点」

3年間継続して助成金をいただいたことで、活動を大きく成長させることができました。特に、分布調査や除去活動、モニタリング活動を実施する際にかかる旅費交通費に最も役立っていました。また、消耗品費や印刷費に助成金を使うことで、学生が負担している参加費を下げるが可能になりました。広報活動ではパンフレットや団扇、クリアファイルなどの様々な認知度向上のための広報物を作成するのに役立ちました。

里山体験隊 2016

特定非営利活動法人 絵本による街づくりの会

活動場所 主に滋賀県高島市内
所在地 滋賀県高島市マキノ町西浜 953-17
設立年 2004年
会員数 115名(内、正会員(運営スタッフ)18名)
連絡先 事務局専用携帯 080-3802-8157
HP 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

高島市マキノ町に残る里山の自然の価値や、大切さを、次代を担う子どもたちに、実感してもらうために「里山体験隊」と称して、春は田植え、夏はキャンプ、秋は刈入れ、冬は散策や餅つき大会を実施いたしました。

「環境や地域への貢献」

テレビやスマホやゲームなどのバーチャルな世界が子どもの遊びの主体となっている現在、子どもたちが伸び伸びと、里山の自然の中で活動できたことに、大きな意味があったと思います。彼らが大人になった時に絶対に里山の自然の大切や貴重さを思い出してくれると信じています。そのことは、最大の環境保全につながると思いますし、地域を守ることにもつながったと思います。

「助成金が活きたと思う点」

田植えや稲刈りなどの活動は、メンバーの好意によりほぼ経費を変えずに実施できましたが、キャンプだけ宿泊施設への支払いなどを費用が発生し、それを参加費として徴収すると参加可能な子どもが限られてしまいます。助成金のおかげで、参加費を低く抑えることができ、幅広い層や地域の子どもの参加が可能となりました。ありがとうございました。

いかだに乗ってみよう～山・川・まちのつながりの再生～

特定非営利活動法人
プロジェクト保津川

活動場所 京都府亀岡市を中心とした保津川(桂川流域)
所在地 京都府亀岡市追分町谷筋 37-21 ふらっと HOUSE
設立年 2007年
会員数 72名
連絡先 0771-20-2569、info@hozugawa.org
HP  Facebook  Twitter 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

私たちは、保津川下りの船頭さんや亀岡市文化資料館とともに、保津川の筏流しの復活に取り組んでいます。千年以上の歴史を持つ保津川の筏流しですが、戦後しばらくして途絶えてしまいました。この伝統ある筏流しを復活させ、もう一度、山と川、そしてまちのつながりを再生しようというのがこのプロジェクトの目指すところです。

「環境や地域への貢献」

夏原グラントのご支援をいただき、筏流しの技術伝承だけではなく、筏に使う材木はどうやって山から伐り出すのか、筏師さんたちはどんな暮らしをしていたのか、といった筏に関連した技術や文化を次の時代を担う子どもたちに伝える活動にも取り組み、徐々にですが確実に、地域活動の新しい担い手が育ちつつあります。

「助成金が活きたと思う点」

以前は筏の試乗体験だけを親子向けプログラムとして実施していましたが、夏原グラントのご支援のおかげで、伐採から搬出、製材、そして筏組みまでの一連の作業を楽しみながら学ぶプログラムを構築することができました。ありがとうございました。

はれザウルスの森の再生と涵養

～カブトムシの棲む森へ～

特定非営利活動法人 おとくにパオ

活動場所 京都府長岡京市 西山一画(私有地を賃借)
所在地 京都府長岡京市開田4丁目1-12 西和荘1F2号室
設立年 2000年
会員数 世帯会員数 135世帯
連絡先 075-955-4366、harezaurusu@yahoo.co.jp
HP  Facebook 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

「はれザの森の再生と涵養」事業3年目の今年度は、予定していたA区画の整備・植樹とB区画の伐採・整地を終え、今後B区画にもクヌギ等の苗木を植え、成長を見守り、さらに環境を整えていく段階まで進みました。作業をしていく中で、少しずつ明るくなっていく森を実感することができ、また鹿や猪による食害の実態も目の当たりにし、手入れの必要性を再確認しました。また、秋の祭りや「環境学習会」など、広く地域の大人も子どもも巻き込んで自然を楽しむことができました。

「環境や地域への貢献」

私たちの活動しているフィールドは約1.7h、その中でも今回整備を進めているのは、A、B合わせて500㎡ほどのほんの一握りの区画ですが、今後エリアを広げ、この西山がカブトムシの棲む明るい生き生きとした森へ再生していく第一歩にできたいと思っています。

「助成金が活きたと思う点」

活動当初、鹿の捕食被害防止の防獣ネットは高価なため自作の対策を講じるつもりでしたが、必要性が必須となったため、いただいた助成金で生分解性の環境にやさしい素材の幼齢木ネットを購入することができました。

* HP Facebook Twitter : 団体としてサイトやアカウントを持っている印 (団体名で検索)

水源の里「古屋」の宝物再発見 古屋集落自主応援組織「古屋でがんばろう会」

活動場所 京都府綾部市睦寄町古屋地内
所在地 京都府綾部市睦寄町古屋 23 古屋公民館内
設立年 2011年2月
会員数 正会員 38名
連絡先 0773-54-0095(上林いきいきセンター)
suigen@city.ayabe.lg.jp
HP Facebook



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

水源の里「古屋」集落皆さんの廃村にさせないとの願いに沿い、会員及び企業・学生・一般ボランティア有志皆さんの協力を得て、本年も次の5つの事柄を柱に活動しました。

①古屋集落と周囲の山内の清掃と自然環境整備 ②水源とその流域の環境整備、流木や倒木、ゴミ等の除去清掃 ③柵の森の保全と、柵の実の収穫、鹿除けネット柵の設置と補修、特産品の開発と販売促進 ④都市住民、一般ボランティア及び綾部市内新規定住者等の活動への参加拡大と交流 ⑤柵の実加工技術の継承等、です。

「環境や地域への貢献」

水源の里で必要とされる日々の村仕事や山仕事の継続が、生活の場を守り、廃村の危機を乗り越えて故郷を存続させようとする人々にとって、大きな自信となりつつあるように感じています。「古屋」での取り組みの積み重ねから、やればできるとの思いを着実に周囲に発信し拡がってきていると感じています。

「助成金が生きたと思う点」

まず最初に、活動を継続する上で何よりも社会的権威ある財団からの助成事業として評価を得られたことと、活動継続への励ましと自信を得る事ができたと感謝しています。運営上必要とされる費用の問題を解決するとともに、活動内容をより一層充実させ事業を行うことができました。

ステップアップ助成1年目 1事業

山門水源の森の生物多様性の保全と獣害対策 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

活動場所 滋賀県長浜市西浅井町山門
所在地 滋賀県大津市六太 3-15-18
設立年 2001年
会員数 132名
連絡先 090-487-0941、hide-n-c@mui.biglobe.ne.jp
HP



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

通常の生物多様性保全のための活動を継続するとともに、過去15年間の各種保全活動の総括として琵琶湖博物館において1ヶ月間のパネル展示・シンポジウム・現地研修を実施しました。本会の組織の若返りと経済基盤確立を図るため先進団体へ会員を派遣し研修を行いました。

「環境や地域への貢献」

食害防止柵の設置によって食害が顕著に減少する一方で、防止柵のない部分では嗜好性植物ばかりとなり、多様性が劣化することが明確になりました。滋賀県内の多くの山地の調査も行い、シカの食害が生物の多様性の損失にとどまらず、大規模な土砂災害の発生が危惧されることなどを琵琶湖博物館での展示で公にしました。

「助成金が活きたと思う点」

食害防止柵の設置、継続的な植生調査、過去15年間の生物多様性保全活動の総括展示及びシンポジウム(於:琵琶湖博物館)が実施でき、各地の先進事例を視察することで組織の若返りの検討が行えました。

ステップアップ助成2年目 1事業

びわ湖の森の間伐材買取事業

一般社団法人 k i k i t o

活動場所 滋賀県湖東地域
所在地 滋賀県東近江市一式町 564-5
設立年 2008年
会員数 35名
連絡先 info@kikito.jp
HP Facebook



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

湖東地域を中心とした滋賀県内及び京都府の森林で伐採された間伐材の買取を行いました。事業は県内3地域(多賀町・東近江市・日野町)で実施し、買取価格は市場より有利な価格で買取り、約230tの集材ができました。買取った間伐材は、製紙用として木材チップ業者を通じて製紙メーカーへと販売しました。

「環境や地域への貢献」

買取事業の実施で、森林所有者の方々の整備意欲の向上や未整備森林の間伐作業促進につながりました。また、買取った間伐材で製造された紙製品が地域で流通・利用されることで、森林や木材への関心が高まりました。

「助成金が活きたと思う点」

助成採択5ヶ年間で間伐材の買取り量が約230%増(前年比較12%増)と買取量を年々増やすことができました。これも助成金を活用し、重機等のレンタルや土場の賃借料などの経費負担に利用させていただいた結果と感謝しています。また、組織強化のため研修受講などの人材育成を行ったりと、将来に向けて事務局体制の強化を図ることもでき、従来事業の継続や新たな事業展開への弾みとなる助成金でした。

表彰された団体の紹介

採択事業団体の中で2016年度に表彰されたことがあるかどうかを尋ね、回答があった団体のご紹介をします。

表彰以外にも地元から感謝をされたことなどのご報告もいただきました。来年度も皆様の環境保全活動のますますのご活躍を期待いたします。

(1) 受賞年月 (2) 賞の名前と主催団体名 (3) 評価された点

特定非営利活動法人 家棟川流域観光船



生物多様性大賞

- (1) 2013年
- (2) 滋賀県、経済同友会
- (3) 家棟川の生態回廊の再生—ビワマスが遡上する川づくりの活動が、マザーレイク21計画「森・川・里・湖のつながり再生」の実践であり、県から高く評価されました。

ふるさとづくり大賞総務大臣賞

- (1) 2015年3月17日
- (2) 日本水環境学会
- (3) 川のゴミ拾い活動、屋形舟で川を遊覧して市民に川の素晴らしさを味わってもらう活動、上流から河口まで8ヶ所での生態調査が水環境の保全と創造に寄与する優れた活動と認められました。

特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会



第18回日本水大未来開拓賞

- (1) 2016年6月21日
- (2) 日本水大委員会、国土交通省
- (3) 大学の壁を超えた学生たちの熱い思いとパワーが地域のエネルギーを誘発して、繁殖力旺盛な外来植物のエネルギーに打ち勝つ成果を上げているこの地道な取り組みを評価されました。

平成28年度日本自然保護大賞入選

- (1) 2017.2.19
- (2) 公益財団法人日本自然保護協会
- (3) 大学生の「熱意」と「行動力」で外来水生植物から琵琶湖を守るため、オオバナミズキンバイによる現状や被害、課題を日本社会に訴えかけている点が評価されました。

特定非営利活動法人 プロジェクト保津川



京都府緑化等功労者表彰

- (1) 2016年10月9日
- (2) 滋京都府館
- (3) 筏流しの復活を通じて、伝統技術の記録や伝承、山と川、まちの繋がりの再生に取り組んだ。ことが評価されました。

白鳥川の景観を良くする会



感謝状

- (1) 2016年10月8日
- (2) 近江八幡市立総合医療センター
- (3) 市立総合医療センター開設10周年記念に際し、「癒しと潤いの空間づくり」に多大な貢献をした」として感謝状をいただきました。

活動アルバム

助成団体の皆さんから届いた画像には、活動中のワンシーンや事業の成果物など、さまざまなものがありました。本文と表紙に掲載していますが、残念ながら誌面の都合ですべては掲載できません。こちらにも一部掲載しましたのでご覧ください。もっと詳しく知りたい方は本文をお読みください。

中央分水嶺水源林再生事業 (P6)



Re
S
梵(リボン)大作戦
S
梵(リボン)から始まる里山の再生 (P8)

大谷川周辺に生息するオオサンショウウオの生態系保全活動 (P8)



障害児が体験・講座を通して「野菜・植物の育成」を学びふれあい事業 (P9)

21世紀の「鹿背山ものがたり」を「つくる」を
里山と都市の好循環を目指して (P10)



放置竹林問題啓発活動 (P10)

ぼてじゃこトラスト
人材育成事業 (P13)



未来に続く生物多様性の森育成事業 (P14)

活動アルバム

里山保全・整備活動

(P 14)



遊休・休耕農地や
放置森林等の再生・管理事業 (P 15)



三川合流地点(木津川・宇治川・桂川)
八幡市男山展望台周辺の
環境整備事業 (P 16)



鴨川生き物調査

(P 16)



伊吹山自然再生・保全事業 (P 19)



森林資源利用による森林整備の
推進と地域通貨による森林の恵み
実感「甲賀木の駅プロジェクト」 (P 20)



はれザウルスの森の再生と涵養
カブトムシの棲む森へ (P 21)



水源の里「古屋」の
宝物再発見

(P 22)





主 催 公益財団法人 平和堂財団

〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地 (株)平和堂本部内
TEL 0749-23-4575 FAX 27-4180
ホームページ <http://heiwado-z.jp/>

運営事務局 認定特定非営利活動法人 しがNPOセンター

〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町207-3 K&Sビル3F
TEL・FAX 0748-34-3033
メール shiga.npo@gmail.com
ホームページ <http://shiganpo922.shiga-saku.net/>



この紙は「びわ湖の森を元気にする」 kikito ペーパーを使用しています。